

13005 教育心理学Ⅱ a、b Educational Psychology II		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	三澤 文紀	履修可能学科	E Pe必 C W F
		関連資格	
サブタイトル	教育心理学入門（後半）		
授業内容 ・ ねらい	「教育心理学Ⅰ」に引き続き、教育心理学の主要なトピックを概観します。この授業では、主に授業の方法、発達、発達途上での困難や障害といった内容が中心となります。学生の皆さんがこの授業に積極的に参加することで、教育心理学の主要トピックに関して基本的知識を理解できるようになることが、この授業の目標です。		
授業計画	<p>次の各テーマについて学びます。</p> <p>第1～2回 授業の心理学①： プログラム学習や発見学習など</p> <p>第3～4回 授業の心理学②： 有意味受容学習など</p> <p>第5回 授業の心理学③： 協同学習など</p> <p>第6～7回 発達の理論： 発達の基礎、認知発達など</p> <p>第8～9回 乳幼児期の発達： 人生初期の特徴など</p>	<p>第10～11回 社会性の発達： 道徳性や対人関係の発達など</p> <p>第12～13回 青年期の発達： アイデンティティの形成や困難など</p> <p>第14回 「障害」の理解： 教育現場における障害の捉え方など</p> <p>第15回 総まとめ</p> <p>※ 受講者の理解度に応じ、実施順や回数の変更、またはテーマの追加等を行うことがあります。</p>	
教科書 参考書	教) 藤田哲也(編著) 『絶対役立つ教育心理学』(ミネルヴァ書房)		
評価方法	期末テスト(または、期末レポート)60%、小テスト(小レポート)と要約発表等の課題40%の割合で評価します。ただし、遅刻、欠席、授業態度不良(特に私語)によって、減点されます。		
事前準備学習 履修条件等	初回から教科書を持参してください。この授業は「教育心理学Ⅰ」の出席者が対象です(Ⅰの単位を落としても、Ⅱの出席は可能です)。なお、グループ活動や発表、小テスト(小レポート)を度々課す授業であることに注意してください。Pe学生優先につき、それ以外の学生は必ず初回に相談に来てください。		